

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2023年12月1日

事業所名：リハ・リハキッズ パワーズ板宿

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令上の広さの確保はできている。活動の多い利用児がいる場合などは、活動場所を分けるなど安全面での注意をしている	はい:21名 どちらともいえない:1名 わからない:2名	成長に伴い、活動範囲が拡大している利用児もいるため、環境整備をしながら活動内容の調整するなど工夫していく
	2 職員の適切な配置	配置基準に必要な人員は、毎日勤務できるよう配置している	はい:13名 どちらともいえない:3名 わからない:9名	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用児が活動しやすいよう室内のレイアウトなど環境整備を行っている。また、スケジュール表や絵カードなどを活用し障害特性に合わせた支援を提供出来るよう取り組んでいる	はい:19名 わからない:4名	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		はい:20名 わからない:4名	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	事業所内での成長シートを活用し、個人の目標設定をし、管理者が年2回面談を行いスタッフのフォローと指導を行っている		事業所の年間計画に沿って実施を継続していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	社内監査を毎月実施し、書類や業務内容の不備を確認している		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内及び事業所内での教育計画に沿って、必要な研修及びOJTを行っている		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に1回保護者との面談を行い、スタッフ間でのモニタリング及びカンファレンスを実施し、支援計画作成をしている		スタッフ間で支援についてのカンファレンスを継続し、よりよい支援ができるよう取り組んで聞く
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児の特性に合わせて、個別又は集団活動を支援計画に取り入れている	はい:24名 ・連絡ノートで日々の行動を読ませて頂き、色々な経験をさせて頂き、日々感謝しています	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用児の特性にあわせた支援内容を、具体的に記載するようにしている		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った日々の支援がなかなか実施できていない	はい:24名	スタッフへ支援計画の周知を行い、日々の支援に繋がるよう支援方法についてスタッフカント検討し取り組んでいく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	日によりばらつきがあり、チーム全体での活動プログラムの立案が定着されていない		計画的に活動プログラムを立案できるようスタッフ間で検討し、内容を定期的に見直していく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、利用時間も短いことから、個別及び集団活動が十分ではないが、休日及び長期休暇の際は、野外活動や集団活動を取り入れ行っている	はい:22名 わからない:2名 ・長期休暇など、野外活動を取り入れてほしい	利用児の特性に合った支援方法について、スタッフ間で意見交換し、状況に合わせた内容修正を行っていく また、長期休暇など野外活動や楽しいプログラムを検討実施していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用児の体調や状況を考慮し、季節のプログラム(制作や遊び)を行ったり、個別及び集団活動について工夫している		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日朝礼にて業務内容の確認は行っているが、利用児ごとの支援内容の役割分担までできていない		朝礼時に、支援内容の具体的な役割分担の確認を行っていく
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了時ではなく、朝礼にて前日の振り返りと情報共有を行っている		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は、支援した実施者が記載し、内容は定期的に監査し改善に努めている		支援計画に沿った支援内容の記載ができるよう、検討する機会を作り記録の充実を図る

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回定期的に行い、状態等が変化した場合はその都度計画の見直しを行っている	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に参加している	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	頻度は少ないが、保育園、学校、医療センターなど訪問し、情報の共有を行っている	地域など関係機関との連携が密にできるよう、積極的に訪問等を行っていく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	必要時訪問看護や、保護者との情報共有は行っているが、医療機関との直接的な連絡はとっていないが、	医療機関との直接的な情報共有を、必要時とっていく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育園及び学校送迎時の情報交換は行っているが、支援内容の詳細まで情報共有はできていない	保育園及び学校訪問を行うなどし、支援内容の情報共有を行っていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	面談時に卒業後の進路について確認し、必要な障害福祉サービスの情報提供を行っている	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	地域の関係機関が行う会議には出席している。また、研修については職員に情報提供し参加するよう促している	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナの影響により、できていない状況である	はい:6名 いいえ:4名 わからない:13名

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの影響により、出来ていない状況である		今後、地域住民への発信をを検討していく
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に、支援内容や利用者負担等については説明をし、変更時はその都度説明を行っている	はい:23名	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画作成時は、原則計画内容を見ながら説明している	はい:23名 いいえ:1名	保護者へきちんと書面を見ながらの説明を徹底していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時や面談時など、支援方法の提案や自宅内での支援について話を聞き、アドバイスは行っていく	はい:14名 いいえ:2名 わからない:7名	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時など、発達状況や課題について把握できるよう、十分ではないがコミュニケーションを図っている	はい:23名 どちらともいえない:1名	保護者との共通理解の場を、今後も意識的に作っていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や面談時など、保護者とコミュニケーションを図り、子育ての悩みなど聞き取り、場合によってはアドバイスを行っている	はい:21名 いいえ:1名 わからない:1名 ・連絡ノートでしっかり確認させて頂いています	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの影響によりできていない	はい:6名 どちらともいえない:2名 いいえ:9名 わからない:7名 ・保護者会の開催をしてほしい	保護者会の開催に向け検討中
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口を設け、苦情があった場合には神速に対応している。	はい:15名 どちらともいえない:1名 わからない:7名	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に、利用の様子を伝えたり、連絡ノートに詳細を記載し伝達している。	はい:21名 わからない:3名	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報の発行は現在できていないが、SNSを活用し活動内容や、連絡事項などについて発信している	はい:14名 どちらともいえない:3名 わからない:6名	SNSを活用し、発信する頻度を増やしていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報の取扱いについては説明し、日頃の取扱いについてもスタッフに周知している。また、研修も定期的に行っている	はい:21名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルの作成は行っており、スタッフへの周知はできているが、保護者への説明が不十分である。	はい:21名 どちらともいえない:1名 わからない:5名	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回防災訓練の実施(建物全体)は行っている	はい:8名 わからない:15名	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的な委員会の開催と、年2回社内研修を行っている		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束に該当する利用児はいないが身体拘束委員会を開催し、定期的に議論している		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーについて、医師からの指示書はなもらっていないが、保護者に聞き取りし確認を行い食事提供をしている		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内リスク管理マニュアルに沿って、ヒヤリハットやクレームについて、スタッフ共有している		ヒヤリハット等の分析を行い、リスク管理体制を強化していく予定